



捕った

イオル体験交流事業「川漁体験」がウヨロ川河川敷で行われ、小学生がアイヌ民族の伝統漁でサケを捕獲した。漁は木棒の先に「マレク」と呼ばれる金属のカギ針を付けた特殊な棒を使って難しい漁に挑戦。中には一度で釣り上げる子どももあり、大喝采。
(広報元気編集室)

川のイオルでサケ漁



編んだ

白老モシリのイオル体験交流事業「ゴザ編み体験」が行われ、白老や室蘭から参加した11人がアイヌの伝統工芸に挑戦した。材料は町内を流れるフシコベツ川で採取したガマを使い、悪戦苦闘しながら一生懸命にゴザ編みに取り組んだ。
(広報元気編集室)

ゴザ編みで伝統体験



描いた

村上和義さん(77)が写真店を営む傍ら描いたスケッチ画は7700点余りに達した。果物、季節の野菜、花々がモチーフだ。水彩、色鉛筆から彩り豊かな作品が生まれる。50歳から描いた作品も間もなく8000点に。階段ギャラリーも華やか。鑑賞もできる。
(広報元気編集室)

間もなく8千枚達成



完成だ

白老小学校校区内の末広第二町内会(吉村智会長)が、通学路にある「あいさつ通り」の看板をリニューアル。老朽化していたもので、このほど新調した看板を取り付けた。今後のあいさつ運動にも一層弾みがつきそうだ。
(広報元気編集室)

あいさつ通りに看板